

～現在の日本語学習支援基金の状況～

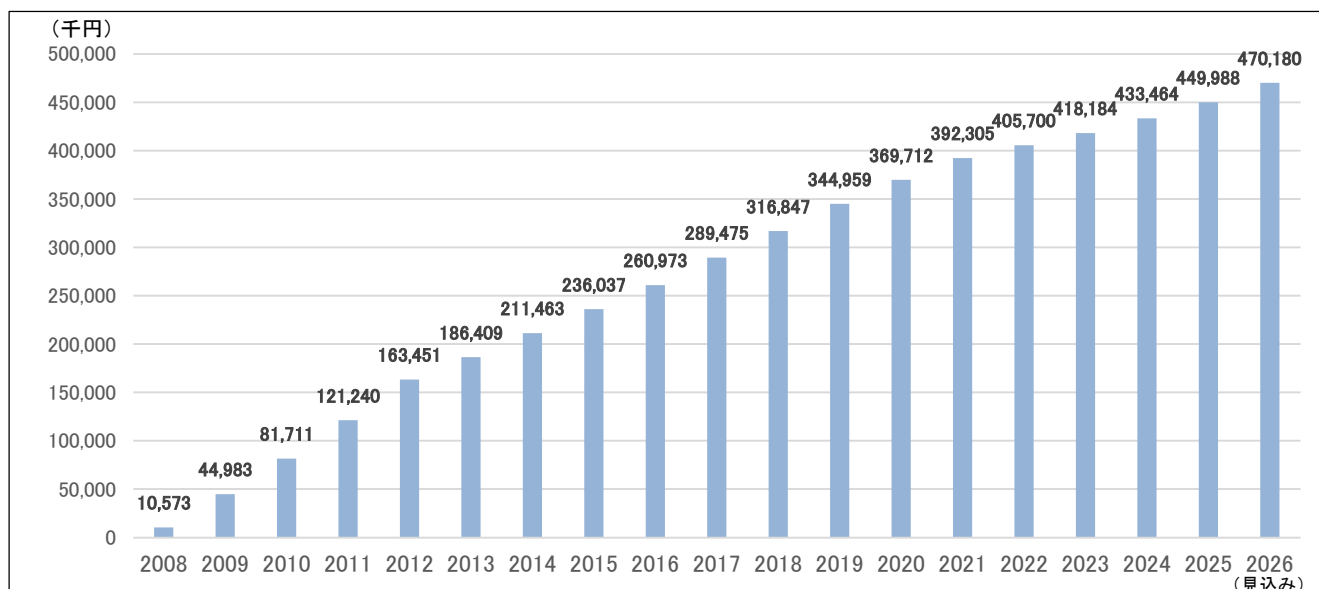
1 現行基金の概要

基金造成時期及び造成額	○ 当初造成：2008 年 7 月 約 2.45 億円（140 を超える企業・団体、個人からの寄附） ○ 第 2 次造成：2016 年 4 月 約 1.5 億円（2 分の 1 を県が出えん、100 を超える企業・団体、個人からの寄附） ○ 第 3 次造成：2022 年 4 月 目標額 1 億円（2 分の 1 を県が出えん、2 分の 1 は企業・団体、個人からの寄附）
事業実施期間	2008 年 7 月～2027 年 3 月末
基金造成先、事務局	公益財団法人 愛知県国際交流協会

2 現行基金の主な事業内容

事業内容（〔 〕は 2026 年度末までの支援見込額）	
I 日本語教室への支援〔294,555 千円〕	
① 日本語教室学習支援事業	→ 新しい基金で実施予定
② キャリア・地域交流支援助成事業（2026 年度まで）	
③ 日本語能力試験受験料助成事業（2020 年度まで）	
II 外国人学校への支援〔114,382 千円〕	
④ 日本語指導者雇用助成事業（2026 年度まで）	
⑤ 日本語学習教材給付事業（2026 年度まで）	
⑥ 日本語能力試験受験料助成事業（2020 年度まで）	
III その他事業〔61,243 千円〕	
⑦ 外国人児童生徒学習支援推進コーディネーター養成事業（2020 年度まで）	
⑧ 運営委員会・事業審査委員会の開催、広報活動	

3 現行基金による支援額の累計（各年度末現在）

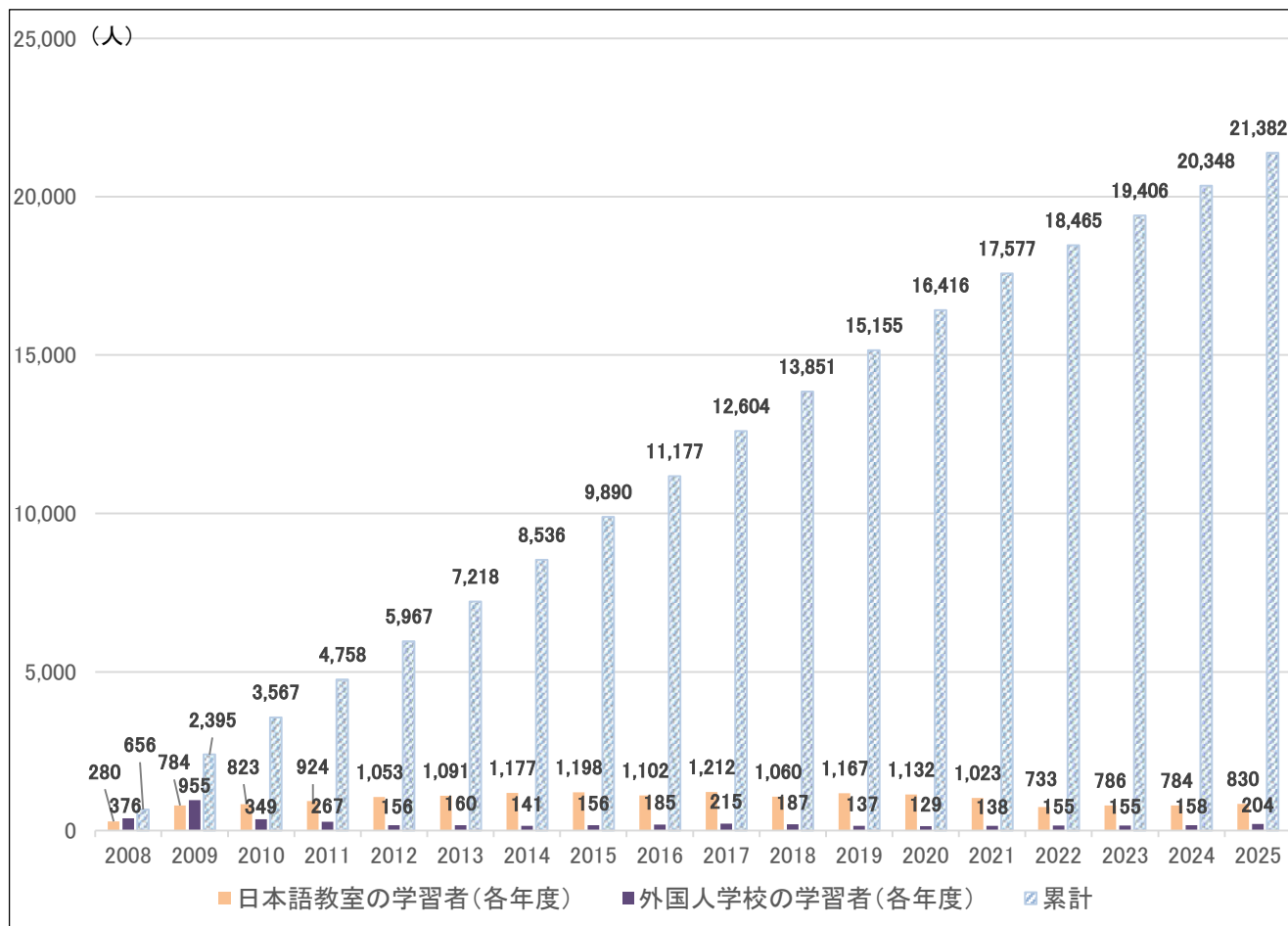


4 現行基金の成果について

(1) 外国人の子どもの日本語学習機会の拡大に寄与

- **延べ 21,382 人の外国人児童生徒**が、基金の支援を受けた日本語教室や外国人学校で日本語を学習しました。(2025 年度末現在)
- 2025 年度には、**子ども向け日本語教室 58 教室(※)**、**外国人学校 4 校に支援**を行いました。(※)助成認定教室数

現行基金が支援した日本語教室・外国人学校の学習者数の累計



(2) 居場所づくり・キャリア形成支援等により将来に希望をもつ子どもたちの増加

現行基金からの助成を受けている日本語教室には、幼稚園児から高校生まで幅広い年代の子どもたちが通っており、「日本語学習」支援のほかにも、居場所づくりやキャリア形成支援など、様々な側面から地域ぐるみで子どもたちやその家族を支援してきました。

- ・ 学校の勉強の遅れを取り戻すための塾のような場所
- ・ 進学支援、進路相談
- ・ イベントなどを通じて地域とのつながりを持てる場所
- ・ 子どもや保護者の「居場所」
- ・ 生活や子どもの教育などの悩みや不安を抱える保護者の相談対応



多様な支援者が教室を支えています



支援者に見守られながら学習に集中



小・中学生を対象にした説明会で、高校進学
の大切さも伝えています



「ものづくり」に興味を持ってもらうための
プラ板づくり体験の様子



教室から巣立った大学生の先輩たちから
体験談を聞いて、学習や進学の励みに



コミュニティ農園での活動により
地域とのつながりが生まれる

(参考) 現行基金の助成を受けている教室関係者からの声の例

- 通知表を見せてもらうことが多いが、自分の努力目標が達成できたと言って見せてくれることが多くなった。小さな躓きを見落とさないよう指導することで児童生徒が自信をもって積極的に楽しく学習に取り組むようになった。
- 高校受験を迎える生徒が3名いたが、無事に合格することができた。
- 教室で知り合った生徒同士が日本語で会話するようになり、数学の問題など教えあうような絆が出来た。
- 中学校を卒業して高校生になった生徒の出席が月を追うごとに少なくなった。学校の授業が理解できるようになったと思えて喜ばしく感じられる。
- 生徒同士が交流できるよう引き続き安心できる居場所作りを考えたい。